岩盤ボーリング柱状図

調査名	主要地方道　東広島本郷忠海線　交通安全施設事業に伴う測量設計業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	R3-B-3	調査位置	広島県東広島市高屋町高屋東　地すべり測線上方	北緯	34° 26' 52.5560"
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	令和3年10月 6日～ 令和3年10月 9日	東経	132° 48' 30.7403"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 227.22m	角度	180°上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南
地盤勾配	20° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM-05DA	
総削孔長	16.00m		エンジン	ヤンマーTF70V	ポンプ EP-50

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事
	227.02	0.20		シルト混じり砂	茶褐								
1				強風化花崗岩	茶褐	w5	h3	E	VI	d	D	0[0](100)	細砂主体の表土。所々植物根を混入する。
						w4	h4					0[0](100)	砂状～礫状のコアで，全体的に軟質な粗粒花崗岩。DL級を呈する。長石は指圧で粉砕できる。
2						w3	h2	C	III	b	CL	10[10](100)	GL-0.20～1.00m間では，コアは砂状となり岩組織は不明瞭となる。
3	223.67	3.55				w4	h3	E	V	d	D	43[43](100)	GL-1.85～3.00mでは，硬質となりCL級を呈し，長石は指圧で崩れない。水平方向に亀裂が発達する。GL-2.15～2.20m，2.25～2.30m間では，風化が進み砂状で軟質となる。GL-2.70mで水平方向に褐色粘土の薄層が狭在する。GL-2.80mで40°の亀裂に褐色粘土の薄層が狭在する。
4					淡褐灰～褐灰	w2	h2	C	III	b	CL		
								D			D	0[0](100)	
5						w3	h3	C	IV	c	CL	6[0](100)	岩組織は明瞭で，全体的にDH級を呈する粗粒花崗岩。長石は指圧で崩れる。コアは礫状～短棒状で採取できる。部分的に硬質でCL～CM級を呈し，長石は指圧で崩れない。GL-3.55～4.00m，4.43～7.20m，7.75～9.00m，14.50～15.50m間では，CL級を呈し，ハンマーの軽打で金属音がする。
6													
7						w2	h2		III	b		12[22](100)	
						w4	h3	E	V	d	D	14[27](100)	GL-4.43～5.80m間では，鉛直方向の縦亀裂が発達し，一部コアが砂状～礫状で軟質となる。
8						w2	h2	C	III	b	CL	14[36](100)	GL-6.30～6.35m間では，風化が進み砂状～礫状で軟質となる。GL-7.20～7.75m，9.00～9.60m間では，砂状～礫状でDM級を呈し，指圧で粉砕できる。
9				風化花崗岩		w4	h3	E	V	d	D	25[25](100)	GL-8.25～8.35m間では，風化が進み砂状～礫状で軟質となる。
10						w2	h2	B	II	b	CM	35[63](100)	GL-9.60～11.40m間では，CM級を呈し，ハンマーの軽打で金属音がする。
11						w3				c			GL-10.45～10.60m間では，風化が進み礫状となる。
						w2				b		25[25](100)	
12						w4	h3	D	V	d	D	0[0](100)	GL-11.40～11.70m間では，風化が進み砂状～礫状で軟質となる。
13									IV	c		0[0](100)	GL-12.60～13.00m間では，風化が進み砂状～礫状で軟質となる。
14						w2						24[34](100)	
15							h2	C	III	b	CL	20[20](100)	
16	211.22	16.00				w3	h3	D	V	d	D		GL-15.50～15.60m間では，風化が進み砂状～礫状で軟質となる。
17													
18													
19													
20													
21													

孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図 (0 10 20 30 40 50 60)	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
10/7 無し			1.15	4								打込み/打込シュー	0	0	0	W1 0	0
		4	1.40														
		50以上	2.00	貫入不能					10/6	50							
		7	3.15	7											1	W2 10	10
			3.45	300													
		50以上	4.15	50	280						66/ケーシング	W/D			1	W2 10	0
10/8 4.83		50以上	5.00	50	50												
		50以上	6.00	50	50				10/7								
		50以上	7.00	貫入不能													
		50以上	8.00	貫入不能													
		26	9.15	26									150	220			
		50以上	10.00	貫入不能													
10/9 10.60		50以上	11.00	貫入不能					10/8	63					1	W2 10	5
		50以上	12.15	50	130						66	W/D					
		50以上	13.15	50	100												
		50以上	14.15	50	130												
		50以上	15.15	50	50												
		50以上	16.15	50	170				10/9								

コア採取率 (%)　最大コア長 (cm)　RQD [%]